

「第2期かがわ創生総合戦略（仮称）」素案についての
パブリックコメントに寄せられた意見と県の考え方・対応等

番号	意見要旨	県の考え方・対応等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期後の大きな課題は、①若者（特に女性）の転出超過が拡大、②出生数の更なる減、③働き手不足の深刻化、④社会環境等の変化への対応であると考えられる。この4点への対応を中心に、人口減少に対し即効性のある対策を強化して欲しい。 ・特に、若い女性の転出が増えていることから、若い女性の転出拡大を食い止める対策を強化すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期戦略では、第1期戦略における成果や課題、社会環境の変化等を踏まえ、既存の施策に加え、新たな施策を盛り込みたいと考えています。 ・特に社会増減については、若者の転出超過が拡大していることから、若者の就業率が高く、将来の成長が見込まれる情報通信関連産業の育成・誘致に重点的に取り組むなど、女性も含めた若者の県外流出に歯止めをかけるため、全力で取り組んでまいります。 ・また、少子化の流れに歯止めをかけるためには、若い世代の結婚や子どもを持ちたいという希望がかなえられるよう、子育て環境の一層の充実を図ってまいりたいと考えています。 ・このほか、外国人労働者の円滑な受入支援や多文化共生の社会づくりなど、社会環境の変化等にも、対応してまいります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・シングルマザーやリケジョなどが、子育てをしながら働ける職場環境が十分に整備されていないことから、これらの方にターゲットを絞り、香川県に住むと全国より子どもを育てながら働きやすいという環境づくりを進めてほしい。 ・例えば、シングルマザーの看護師・保育士の移住促進策の実施や、リケジョ等に魅力のある働く場を確保するなどの施策が考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産年齢人口が減少していく中、仕事と子育ての両立や女性が働きやすい職場環境づくりへの取組みは重要です。 ・第2期戦略では、女性が働き続けられる環境を整備するためのセミナーの開催や、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の情報発信、働き方改革を推進するための県内中小企業へのアドバイザー派遣など、働く女性の活躍や働き方改革の推進のための施策を講じていくこととしています。 ・また、結婚から妊娠・出産を経て子育てまでの切れ目ない支援を総合的に推進することで、次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることのできる「子育て県かがわ」の実現を目指します。 ・これらの情報については、移住相談窓口において情報発信してまいります。 ・なお、県では、女子中高生等を対象に、平成29年度から「未来をつくるリケジョフェスタ in かがわ」を開催しており、理工系分野の仕事の魅力の紹介なども行っています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の若者転入者の傾向として、①島しょ部への移住者が多い、②専門学校、予備校に通う転入者が多いという他県とは異なる特徴がある。しかし、これらの若者は、再度県外に転出する割合も高い傾向があることから、これらの転入者を本県に定住させる方策を検討できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県への移住者は年々増加しており、20歳代と30歳代がその過半数を占め、また、約4分の1が島しょ部3町へ移住している状況です。 ・県としては、島しょ部も含め、新しい生活の地に本県を選んでいただいた方々に定住していただくことは重要課題と捉えており、定住支援サポーターの活用や移住者交流会の開催をはじめ、各市町と連携しながら、効果的な定住支援に努めてまいります。 ・また、専門学校、予備校に通う転入者については、県内の専門学校・予備校の中には寮を備えている学校があることから、若者の転入につながっていると考えられます。 ・一般に専門学校は卒業生の地元定着率が高いことから、県内専門学校が若者から選ばれる魅力ある学校となることが若者の地元定着に繋がると考え、魅力ある学校づくりのための支援を重点的に行うこととしていますが、その支援については、引き続き県内就職率の高い学科に対しては補助金の加算を行うなど、卒業生の地元定着の向上促進にも取り組んでまいります。

番号	意見要旨	県の考え方・対応等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化対策として、縁結び支援センターの会員に若い世代を増やすとともに、マッチングシステムへのAIの活用や県内企業等と連携して10、20歳代を対象とした若者の出会いの場を創出し、恋愛や結婚について機運の醸成を図って欲しい。 ・ 特に、男性の未婚率の上昇や20歳代で交際経験のない若者の割合が急激に上昇していることから、男性の未婚率減少のための対策が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かがわ縁結び支援センターでは、マッチング登録会員の活動状況等のビッグデータから、「おすすめのお相手」を表示する機能を活用し、マッチングの向上に取り組んでいます。 ・ また、出会いの機会の提供等を行う応援団体として登録している企業・団体等が実施する婚活イベントの支援を行うほか、結婚を希望する男女を対象に、コミュニケーション等についてのセミナーや個別相談会を開催しています。 ・ 県としては、引き続き、結婚を希望する男女の出会いの機会の創出や地域全体で結婚を応援する気運の醸成に取り組んでまいります。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業のグリーンツーリズムがあると良い。林業体験に加え、宿泊でき、自然をたっぷり体感し、山ならではの食生活等を体験するのもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業体験や山での宿泊体験は、魅力あふれる農山漁村づくりの契機になるとともに、本県の自然環境について学ぶことを通じて、みどりを守り・育てる人材を育成することにもつながると考えられ、本県には、中山間地域に宿泊し、里山体験ができる施設もあります。 ・ また、県では、みどりに関する「体験」「学習」「実践」ができる講座として「みどりの学校」を実施しており、この中で、林業体験や山ならではの食生活を体験できる講座も実施しています。 ・ なお、「みどりの学校」については、第2期戦略の個別施策「環境を守り育てる地域づくりの推進」において取り組んでまいります。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天井裏に棲みつく害獣対策（イタチ、ハクビシン、アライグマ等）を考えて欲しい。天井裏で生まれた動物は天井裏で暮らすものだと学習しているのではないだろうか。また不衛生であり感染症等流行ることのないよう対策が必要ではないだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アライグマやハクビシンなどについては、被害の拡大を防止するため、市町が主体となって行う捕獲や捕獲資機材の購入等に対して支援を行うとともに、講習会を開催して捕獲従事者の技術向上を図っています。 ・ また、イタチについては、市町から許可を受けた狩猟者が主体となって、捕獲に取り組んでいます。 ・ 今後とも、各市町や猟友会などと連携しながら、積極的な捕獲に取り組むとともに、農林水産業や生活環境への被害に総合的に対処してまいります。